

2017年2月10日
西日本電信電話株式会社
兵庫支店

「阪神・淡路大震災を風化させない取り組み」について

西日本電信電話株式会社 兵庫支店(支店長 鈴木 勝男、以下 NTT西日本)では、阪神・淡路大震災、東日本大震災や熊本地震における復旧対応などで培ってきた経験と教訓をふまえ、災害時においてもお客様に安心・安全な通信サービスをご利用いただける災害対策に取り組んでいます。

今回、2017年1月17日(火)に阪神・淡路大震災発災から22年目を迎え、更なる防災意識の向上を目的に、「阪神・淡路大震災を風化させない取り組み」を実施します。

1. NTT西日本の災害の取り組み

阪神・淡路大震災、東日本大震災や熊本地震の教訓をふまえ、災害時の通信確保に向けた災害用伝言ダイヤル(171)(電話サービス)や災害用伝言板(web171)の提供、公衆電話の無料化、特設公衆電話の設置、及びネットワークの信頼性向上に向けた、津波や洪水などによる浸水に備えた浸水防止対策、停電が発生した場合の予備電源での給電対策など、お客様の通信を途切れさせないよう、災害に強い通信設備づくりを行っています。さらに、今後想定される南海トラフ巨大地震に備え、通信を途絶えさせない災害に強い通信設備の整備や災害対策演習によるノウハウの蓄積等により、万一の時でもお客様に安心・安全なサービスをご利用いただける防災に強い通信サービスの提供に努めていきます。

2. 兵庫県立舞子高等学校とのジョイントイベントの開催

「体験学習 NTT西日本の災害の取り組み」について体験していただきます。

- (1) 日時 : 2017年2月17日(金) 13:30~16:00
- (2) 会場 : NTT西日本神戸中央ビル1F・駐車場
- (3) 参加者 : 兵庫県立舞子高等学校環境防災科の在校生
- (4) 体験内容 : 災害発生時にNTT西日本が取り組む復旧活動を、想定した被災内容を元に実際に災害対策機器等に触れて体験していただきます。

I. 設備見学

地震による津波や台風による高潮などに備えたNTT西日本ビルへの水防対策(重要設備の保護)、NTT西日本ビルへの商用電力の供給停止に備えた自家発電(エンジン発電)の見学を行います。

II. 救援活動

特設公衆Wi-Fiによるインターネット環境の提供やポータブル衛星装置設置による通信の確保、及び情報伝達手段としての災害用伝言ダイヤル(171)(電話サービス)や災害用伝言板(web171)の体験訓練を行います。

III. 復旧活動

災害発生により光ケーブルが断線したことを想定し、光ケーブルの融着接続を体験していただきます。

* 詳細は、[別紙「体験学習 NTT西日本の災害への取り組み」](#)をご参照ください。

3. 阪神・淡路大震災及び熊本地震のパネル展示

阪神・淡路大震災・熊本地震の被災状況や、NTT西日本グループが取り組んできた復旧活動の様子について、写真でご覧いただけます。

- (1) 日時 : 2017年1月12日(木)～2月20日(月)午前
- (2) 会場 : NTT西日本神戸中央ビル1Fロビー
- (3) 展示内容: 阪神淡路大震災・熊本地震の被災状況と復旧活動におけるパネル展示

4. 災害対策機器の展示

復旧活動で実際に使用する災害対策機器を展示し、災害時においてもお客様に安心・安全な通信サービスをご利用いただける災害対策の取り組みを紹介します。

- (1) 日時 : 2017年2月17日(金) 13:30～16:00
- (2) 会場 : NTT西日本神戸中央ビル1Fロビー・東側駐車場
- (3) 展示内容: 災害時に復旧活動で使用する災害対策機器の展示
(小型ポータブル衛星車、衛星携帯電話、加入系無線システム等)

ニュースリリースに記載されている内容は、報道発表時のものです。

最新の情報と内容が異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

【本件の問い合わせ先】

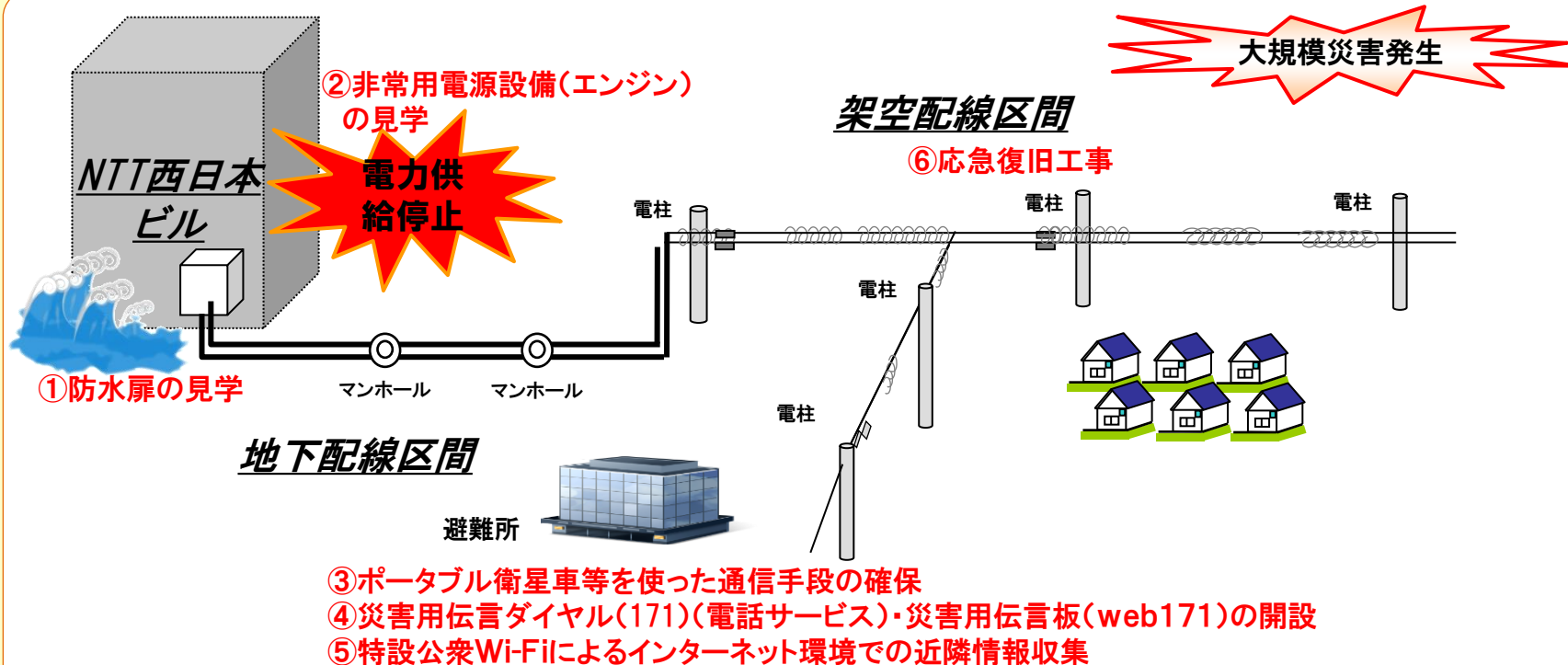
NTT西日本 兵庫支店 広報担当

TEL: (078)326-6375

※電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようお願いいたします。

審査 16-2393-1

津波の被災によるNTT西日本設備の復旧活動



I. 設備見学①②

防水扉、電源設備による
ビル防備の見学

II. 救援活動③④⑤

ポータブル衛星を使った
災害用伝言ダイヤル(171)
(電話サービス)の体験

III. 復旧工事⑥

光ケーブル接続による
応急復旧工事の体験